

2007年8月15日

株式会社 三越 2007年7月上報告

1. 店別状況

店名	前年比 (%)
全店合計	-5.0
日本橋	-4.3
新宿アルコット	0.8
銀座	-12.2
池袋	-3.8
千葉	-3.7
仙台	4.1
札幌	-8.3
名古屋栄(ラシック含)	-7.1
名古屋星ヶ丘	-4.2
新潟	-8.5
広島	-2.8
高松	0.9
松山	-6.9
福岡	-6.2
鹿児島	-6.3

2. 商品分類別売上高

		前年比 (%)
合計		-5.0
衣料品	紳士服・洋品	-8.8
	婦人服・洋品	-6.4
	子供服・洋品	-14.2
	その他衣料品	-2.2
衣料品小計	-6.7	
身の回り品	0.9	
家庭用品	家具	-11.3
	電器	-2.4
	その他家庭用品	3.4
家庭用品小計	-2.6	
食料品	-4.2	
食堂・喫茶	-5.7	
雑貨	-10.1	
サービス	-1.9	
その他	1.1	

3. 店頭・事業部門別売上高

	店頭部門		事業部門	
	売上高	前年比 (%)	売上高	前年比 (%)
月計	59,759,032	-6.4	9,591,615	4.5
累計	255,068,878	-3.3	47,429,146	2.2

(金額単位:千円 前年比:%)

4. 来店客数

	前年比 (%)
全店	-0.1

5. 商況概況

<7月商況>

- 夏のクリアランスセールは好天に恵まれ好調に推移したものの、1日前倒して6月30日(土)からスタートしたことや、中旬以降は連休に台風が接近するなどの天候不順や中越沖地震が起きるなどの影響によりファッション部門を中心に苦戦し、全店の売上前年比は-5.0%となった。また、宝飾品など高額品は引き続き堅調だったが、6月に早期お申し込み推進策を行った中元も7月に入って伸び悩んだ。
- 日本橋本店は、クリアランスセールは来客・売上ともに順調に推移し、宝飾品など高額品も引き続き好調だったが、中旬以降は天候不順により夏物衣料が不振で売上前年比は-4.3%となった。
- 銀座店は、衣料品を中心にクリアランスセールが好調に推移し、浴衣やサングラスなどのシーズンMDも引き続き好調だったものの、一部ブランドの契約終了による売上減が響き、売上前年比は-12.2となった。

<その他>

- 8月21日(火)、日本橋本店の新館地下1階が「シェフ&スパシャリティダイニング」と題し、五感を刺激するイートイン&テラフィアとして生まれ変わります。「もっとおいしく、楽しく、ハルシーに」をテーマに、レストランと同様のクオリティ高い味をカジュアルに食べることができ、テイクアウトも充実しています。
- 日本橋本店では、8月25日(土)～9月2日(日)7階催物会場にて「ワールドウォッチフェア」を開催。高級時計の名門50ブランドを集め、今年の新作を中心に三越先行・限定品も豊富に取り揃えます。第10回記念の今回は、歴史的価値のある時計を多数集めた「ワールドウォッチミュージアム」を同時開催。

(参考) 2006年8月からの売上前年比推移(全店計)

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全店計	-6.6	-0.6	-4.9	-2.0	-4.5	-1.0	-3.8	-3.8	-5.2	-2.7	5.0	-5.0